

社会全体で子育て支援を

中国・四国 九州ブロック 母親クラブが研修会



中国・四国地方、九州地方の母親クラブ員らが集まった研修会

中国・四国地方と九州地方で子育て支援活動を行う母親クラブ員らが集う「中国・四国ブロック／九州ブロック全国地域活動連絡協議会指導者研修会」が15、16の両日、山口市湯田温泉のホテルかめ福で開かれた。山口県、全国地域活動連絡

協議会などの主催。350人が出席した。開会式で、県健康福祉部の渡辺修二部長が「社会全体で子育てを支える取り組みが必要。あたたかく、きめ細かい支援をする皆さんへの期待は大きい」、同協議会の高木美恵子会長が「震

災被災地の子育て関係者も痛手を受けた。このような状況で意義ある研修にした」とあいさつした。

厚労省雇用均等・児童家庭局の斉藤晴美・児童環境づくり専門官が国の子育て支援策や児童福祉の現状を説明した。中でも、全国の児童虐待件数は2009年度が4万4211件で、統計を取り始めた1990年度から増加し続けていると指摘。背景には母親の孤立感や子育てに対する負担感の増加、家庭・地域の養育力低下があるとし、「早期発見が重要。虐待を受けたとみられる子供がいたら市町や地域の児童相談所に通報を」と訴えた。16日は県地域活動連絡協議会の事例報告などがあつた。